

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2005年5月17日

2005年5月15日概況：

5月15日に終わる週の気象は、低温・湿潤であった。平均気温は平年を8～11度Fほど下回り、NW、NC、NE、NW地区の最低気温は23～25度F迄落ち霜が降りた。雷を伴った降雨が州全体を通過した。1週間の降水量は、NW地区で0.22インチ、SW地区では0.39インチ、SC地区では1.02インチ、NE地区では0.62インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は2.3日（前週：5.9日）であった。土壌水分はTopsoil並びにSubsoil共に改善したが、NE地区では“過多”の圃場が出現した。

春小麦の播種は悪天候の為遅れが出た。HRSは84%、Durum小麦は62%の圃場で播種が完了した。遅れが出たが進捗は5年平均より早い。しかし、低温の為出芽は遅れていた。HRS小麦の77%が“Good”以上の作柄評価であった。

土壌水分：2005年5月15日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Average
Topsoil				
Very Short (%)	0	4	14	5
Short (%)	5	13	23	12
Adequate (%)	87	78	59	71
Surplus (%)	8	5	4	12
Subsoil				
Very short (%)	7	12	13	5
Short (%)	16	17	27	17
Adequate (%)	70	67	57	69
Surplus (%)	7	4	3	9

小麦生育状況：2005年5月15日現在

	This week	Last week	Last year	5-Year Ave.
Durum Wheat				
Planted (%)	62	46	53	36
Emerged (%)	26	15	32	18
Jointed (%)	0	NA	0	0
HRS Wheat				
Planted (%)	84	76	83	64
Emerged (%)	48	32	54	37
Jointed (%)	0	NA	1	1

Source: ND Agricultural Statistics Service

HRS小麦の作柄：2005年5月15日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This Week (%)	0	1	22	65	12
Last Week (%)	NA	NA	NA	NA	NA

2005年3月31日の農務省の予想では、ノースダコタ州の2005年産HRSの作付面積予想は、6,900,000エーカーであり、昨年(6,200,000エーカー)の11%増であった。Durumの作付予想は1,850,000エーカー(昨年:1,750,000エーカー)であった。
全米の春小麦の作付けは、昨年比で増加傾向である。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail ogawa.max@omicnet.com